

国土交通省中国地方整備局は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号）第 8 条第 1 項の規定により、国道 9 号吉敷中電線共同溝 P F I 事業の民間事業者を選定したので、同法第 11 条の規定により客観的評価の結果をここに公表する。

令和 7 年 3 月 28 日

国土交通省中国地方整備局長 林 正道

国道9号吉敷中電線共同溝PFI事業

民間事業者選定結果

令和7年3月28日

国土交通省中国地方整備局

目 次

1. 事業概要.....	1
2. 経緯.....	2
3. 事業者選定方法.....	2
4. 第一次審査.....	3
5. 第二次審査.....	4
6. 審査講評.....	7

1. 事業概要

(1) 事業対象区域の概要

国道9号吉敷中電線共同溝PFI事業（以下「本事業」という。）

(2) 事業の対象となる公共施設等の種類

- ・電線共同溝（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第2項の9に定める電線共同溝（道路の附属物））
- ・道路（車道、歩道等）
- ・道路附属物（道路照明、道路標識等）

(3) 事業場所

- ・所在地：山口県山口市吉敷中東4丁目～山口市維新公園4丁目
- ・事業延長：2.5km（道路延長：1.25km）

(4) 事業方式及び事業内容

① 事業方式：

BT0方式

② 事業内容

- ・電線共同溝（管路部・特殊部・横断部）、車道、歩道、道路附属物の調査・設計、工事及び工事監理
- ・電線共同溝（管路部・特殊部・横断部）の維持管理

(5) 事業期間

事業契約締結日から令和3年3月31日まで（約24年間）

(6) 事業の実施

落札者は、事業契約を締結後、本事業を実施する。

2. 経緯

民間事業者選定までの主な経緯は次のとおりである。

・実施方針及び要求水準書（案）の公表	: 令和6年7月4日
・特定事業の選定	: 令和6年8月23日
・入札公告	: 令和6年9月2日
・第一次審査提出書類の提出期限	: 令和6年10月21日
・競争参加資格審査結果通知	: 令和6年11月1日
・第二次審査提出書類の提出期限	: 令和6年12月26日
・開札	: 令和7年2月7日
・落札者の決定	: 令和7年2月13日

3. 事業者選定方法

（1）事業者選定方法の概要

本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）には、PFIや施設の調査・設計から建設、維持管理までの専門的な知識やノウハウが求められる。そのため、事業者の選定にあたっては、事業提案及び入札価格の総合的な評価結果に基づいて決定する総合評価落札方式を採用した。

また、審査は第二次審査に進むための競争参加希望者の資格及び実績等の有無を判断する「第一次審査」と、第二次審査資料を提出した事業者の提案内容等を審査する「第二次審査」の二段階に分けて実施した。

（2）事業者選定の体制

中国地方整備局が総合評価落札方式で事業者選定を実施するにあたり、専門的見地からの意見を参考とするために、「国道9号 吉敷中電線共同溝PFI事業有識者等委員会」（以下「有識者等委員会」という。）を設置した。

有識者等委員会の構成は以下のとおりである。

有識者等委員会 委員

村上 恵子	県立広島大学 地域創生学部 教授
目山 直樹	徳山高等専門学校 土木建築学科 准教授
山田 希恵	アイル監査法人 公認会計士
吉長 成恭	一般社団法人ちゅうごく PPP・PFI 推進機構 代表理事
渡邊 一成	福山市立大学 都市経営学部 教授

（五十音順、敬称略）

(3) 有識者等委員会の開催経緯

有識者等委員会の開催経緯は以下のとおりである。

第1回有識者等委員会 令和6年6月11日

第2回有識者等委員会 令和6年8月5日

第3回有識者等委員会 令和7年1月23日

4. 第一次審査

(1) 第一次審査の概要

第一次審査は、第二次審査のための提案等を行う応募者として適正な資格と必要な能力があると認められるに値する実績を有するかを審査するものである。

中国地方整備局は、応募者が入札説明書等に示す資格要件及び実績等が要件を満たしているか否かの審査を行う。

(2) 応募状況

令和6年10月21日までに2グループの応募があり、競争参加資格があることが確認され、令和6年11月1日に通知した。競争参加資格が確認されたグループは(3)のとおりである。

(3) 参加資格確認グループ

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社グループ

代表企業：エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社

構成企業：株式会社ソルコム、株式会社オリエンタルコンサルタンツ

大林道路株式会社グループ

代表企業：大林道路株式会社

構成企業：株式会社ウエスコ、株式会社ティーネットジャパン

5. 第二次審査

(1) 第二次審査の概要

第二次審査は、総合評価落札方式により落札者を決定するため、応募者の提案内容等を審査するものである。第二次審査の手順は以下のとおりである。

1) 事業提案審査

応募者からの提出書類の各様式に記載された内容（以下「事業提案」という。）を審査する。ただし、事業提案に要求範囲外の提案が記載されていた場合、その部分は採点対象としない。

ア 要求水準審査

事業提案の内容が要求水準を充足しているか否かの審査を行う。事業提案が明らかに要求水準を充足していない場合は欠格とし、それ以外の事業提案は適格とする。なお、要求水準とは本事業に関する「要求水準書」（入札説明書 添付2）及び「事業者等が付す保険等」（入札説明書 添付4）に定める要求水準をいう。

イ 事業提案審査

事業提案のうち「事業者選定基準」（入札説明書 添付7）に示す内容点項目について、その提案がより優れていると認められるものは、その程度に応じて内容点を付与する。内容点は全体で700点満点とする。

① 有識者等委員会における得点案作成

有識者等委員会において「事業者選定基準」（入札説明書 添付7）に示す内容点項目の内容について優れた提案がなされているかを、各委員が審査し、評価基準に基づいて各提案の採点を行う。有識者等委員会は、委員の採点を踏まえて協議の上、とりまとめ、得点案を作成し、中国地方整備局に提出する。なお、有識者等委員会は、応募者に対してヒアリングを実施し、提案内容を確認する。

② 中国地方整備局による審査結果の決定

中国地方整備局は、得点案をもとに、内容点を決定する。

2) 開札

ア 入札価格の確認

入札価格が予定価格の範囲内か否かを確認する。

全ての応募者の入札価格が予定価格を超えている場合は、再度入札を行う。

イ 入札価格の点数化方法

入札価格の価格点については、実額での比較を行うこととし、以下の式により算定した点数とする。計算に当たっては、小数点第3位以下を四捨五入する。

最低入札価格

$$\text{入札価格の価格点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{当該入札参加者の入札価格}} \times 300 \text{ 点}$$

3) 総合評価

予定価格の範囲内の入札価格を提示した応募者それぞれについて、1) の事業提案審査による提案の内容点及び2) の入札価格の価格点をもとに総合評価を実施し、落札者を決定する。なお、総合評価値が同点の場合には、くじにより落札者を決定する。

(2) 事業提案審査

第二次審査時点で競争参加資格が無効となった1グループを除く応募グループに対し、第二次審査を実施した。

1) 要求水準審査

事業提案が要求水準を充足しているか否かの審査を行った結果、「エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社グループ」を適格者と判断した。

2) 第二次審査ヒアリング

事業提案審査過程において、応募グループに対して提案内容を確認するためのヒアリングを実施した。

3) 事業提案審査

事業者選定基準に基づき、有識者等委員会において内容点項目の審査を行った。なお、全ての内容点項目について各委員が採点を行い、それらの採点結果を踏まえ委員会の総意で各内容点項目における審査結果案を作成した。

中国地方整備局は、審査結果案をもとに内容点を決定し、評価結果として確定した。内容点項目審査結果は、以下の表のとおりである。

内容点項目	配点	エヌ・ティ・ティ・インフラネット 株式会社グループ
1 事業の実施方針及び実施体制	70	31.25
2 資金調達及び収支計画	55	22.5
3 施設整備計画	350	110
4 維持管理計画	40	30
5 調整マネジメント業務	150	47.5
6 賃上げの実施	35	0
計	700	241.25

(3) 開札及び総合評価

令和7年2月7日に開札を行い、入札価格と予定価格を比較した結果、入札価格が予定価格内であることを確認した。この結果、下表のとおり、「エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社グループ」を落札者として決定した。

入札参加者 (50 音順)	内容点 (①)	入札価格 (億円)	入札価格 ≤ 予定価格	価格点 (②)	総合評価値 (①+②)	総合順位
エヌ・ティ・ティ・ インフラネット 株式会社グループ	241.25	26.85610132	○	300	541.25	1 位

(4) VFM 評価

落札者の提案内容に基づき VFM の評価を行った結果、約 13.0%の VFM があることが確認された。

項目	値
① P S C (現在価値ベース)	2,293 百万円
② P F I - L C C (現在価値ベース)	1,995 百万円
③ V F M (実額)	72 百万円
④ V F M (割合)	13.0%

6. 審査講評

(1) 総評

本事業は、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な都市景観の形成やまちづくりの観点から、電線共同溝の整備により無電柱化を行うものであり、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率的かつ効果的な事業実施を図ることを目的として行うものである。

このような要求に対して、提案は要求水準書の要件を満足しているとともに、これまでの電線共同溝整備における企業のノウハウやB I M / C I Mを活用するなど新技術を活かした優れた提案であった。限られた時間の中で、熟度の高い提案をまとめた提案力を高く評価する。

事業者からの提案に関する講評は、次のとおりである。

① エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社グループ

本事業の実施方針及び実施体制においては、関係機関や地域との円滑で適確な意志疎通が図れる体制や、リスク分担に関するグループ内協定の締結とリスク管理体制を構築するなど効率的かつ安定した事業実施体制の具体的な提案があった。

また、事業全般で地元企業、人材を活用する計画や、地元企業への技術伝承、人材育成への貢献などの提案があった。

資金調達及び収支計画においては、代表企業が資金不足となる最悪の事態を想定した不測の事態に対応するための実効性の高い提案や、財務面では複数かつ多面的な財務モニタリングを行うなどの十分な提案があった。

施設整備計画においては、B I M / C I M等の新技術を活用し施工段階での手戻りの最小化やコスト縮減、メンテナンス作業を考慮した計画などの具体的な提案があった。

維持管理計画においては、緊急点検の実施判断基準や実施方法、点検結果の記録、報告等の具体的で適切な提案があった。

調整マネジメントにおいては、設計段階での関係機関調整・支障移転協議にB I M / C I Mを活用するなど具体的な提案があった。

以上より、本事業を着実に実施することが期待できる優れた提案であると評価した。

なお、今回の事業の事業提案審査は要求水準審査（加点項目審査）で行っており、要求水準を満たしていれば0点、要求水準を超え、より優れた提案がなされている場合に内容点の付与を行うこととしている。そのため、今回の評価結果は高得点には至っていないが、要求水準は十分に満たしている提案であり、先行事業の経験を踏まえた工程・体制面の工夫やB I M / C I MやD X等の活用の提案など、優れた提案があった事は高く評価できることを付記しておく。

(2) 個別講評

① エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社グループ

内容点項目	個 別 講 評
1. 事業の実施方針 及び実施体制	1-1. 多様な事態を想定した委員会や全国支援などの協働体制を構築し、発注者や地域との円滑で適確な意思疎通を図るなど、事業を実施する上での目標及び重視する点について優れていた。 1-2. グループ内協定の締結などによる構成企業間の分担の明確化や、適切な保険の付与などによる増加費用の抑制など、各企業の専門性や実績等に応じたリスク分担について優れていた。 1-4. 地域企業を優先的に活用する実施体制の構築（活用する割合について目標値を設定）や地域からの資機材調達など、地域企業・経済への配慮・貢献に対する提案があり、地域企業の参画・活用について優れていた。
2. 資金調達及び収 支計画	2-2. 自己資金及び低金利な資金調達、及び不測の事態に備えた確実な資金調達策など、事業を安定的に継続するための資金の確保、資金不足時の対応について優れていた。 2-3. 複数の主体による多面的な財務モニタリングや、発注者による効果的なモニタリングへの協力など、事業安定性確保のための財務上のモニタリング方策について優れていた。
3. 施設整備計画	3-1. B I M / C I M や D X などの新技術を活用した設計・調査など、施工段階の手戻りを最小化する調査・設計の具体的な提案について優れていた。 3-7. 配管・機器などのデータの整理や共有方法の提案により、占用業者による入線作業及びメンテナンスの効率的な実施を図るなど、占用業者への配慮について優れていた。
4. 維持管理計画	4-1. 日常・定期点検方法や緊急点検の実施判断基準など、維持管理対象施設の経年劣化の最小化、施設性能の維持を目的とした点検及び補修についての方策について秀でて優れていた。
5. 調整マネジメン ト業務	5-2. B I M / C I M や模型などによる設計・工事内容の可視化など、地元説明・関係者協議の円滑化や理解度の向上を図る提案があり、適切な関係者間との協議・調整方法について優れていた。
6. 賃上げの実施	賃上げ実施の表明はなされなかった。

以上